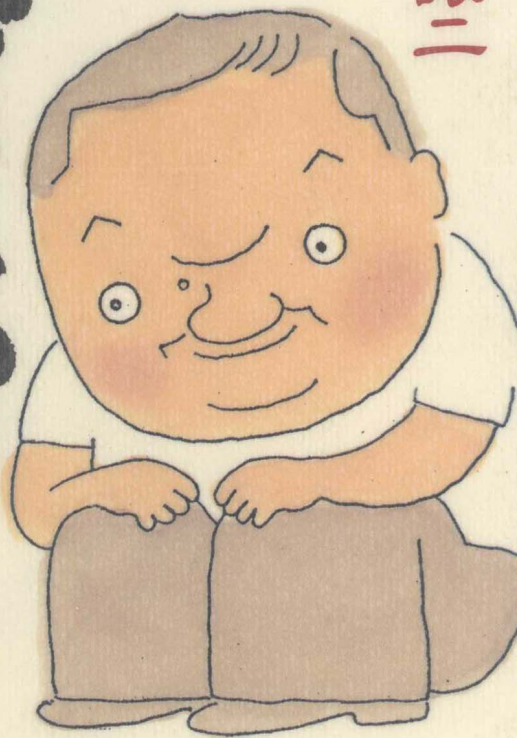


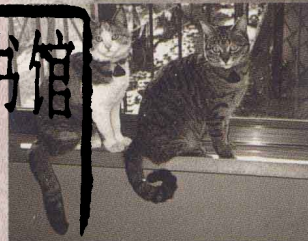
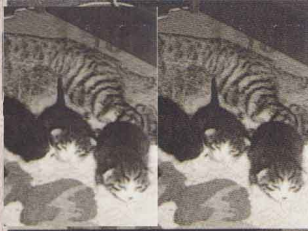
安部譲二

想ひ出の グロニヤン



どうぶつ出版

想出のゴロリャン



工業学院図書館
蔵書章

安部譲二

安部譲二(あべじょうじ)

1937年東京都生れ。小説家。1986年、
処女作『塀の中の懲りない面々』
がミリオンセラーとなりデビュー。
その後、精力的に作品を発表し、
『塀の中のプレイボール』『賞ナシ
罰アリ猫もいる』などもベストセ
ラーとなる。豪快にして繊細な感
性と鋭い評論で、TV、雑誌など幅
広く活躍。愛猫家としても有名で、
その眼差しは温かい。

塀の中の懲りない面々

一九九七年九月二十三日 初版発行

著者 ● 安部譲二

発行人 ● 藤田夏姫

発行所 ● 株式会社どうぶつ出版

〒151 東京都渋谷区上原一―十四―六―二F
電話 ○三―三四六八―〇一二八(営業部)

○三―三四六八―八五〇六(編集部)

振替 ○〇―四〇―一―六五〇四―一九

印刷所 ● 凸版印刷株式会社

本書の無断転載は固く禁じます。

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

ISBN4-924603-43-0 Printed in Japan

目次

猫談義 猫は世界を救う!?

安部 譲二 × 高木 美保 (女優)

10

■第一章 想い出のゴロニヤン

21

最初の猫は戦争に奪われた猫貢ぎ物で飼猫の座を捨て猫の家は2CV! 雨の日に出会った鯖猫

郵便ポストに並んだ名前 阿比留先生の大難手術

猫は飼主に似るらしい 愛した女に直吉を拒まれて

直吉との再会と別れ 耳たぶに吸い付いた!!

猫が営む(?) NYのバー 演歌猫サスライ旅情

ゴルフ場の巨大トイレ! ゴロニヤンの原点

見ない手はない SHOW 青年と縞猫の日曜日

魅惑のフレディー 仔猫と女と渡世人

「あたしが付いてる」と笑われるとムツとして

お前は大きな猫だ 息子に託された仔猫

真にあっけないのだ 来日も来るかも

島が滲んで見える 行く手を阻むもの

運転手の人柄を見抜く!? 猫迷い猫の実家探し
ゴロニヤンに教わる

第二章

シヨボという牝の野良猫

あの猫たちは今も幸せに生れついで野良猫

仔猫を連れて来た!! 恋多き牝猫!!

啼く犬と啼かないシヨボ 無神経な犬に無神経な飼主

車を追いかける犬からかうのが日課!!

僕はシヨボに恋してる 猫シヨボよ台所には

どんなに愛したか

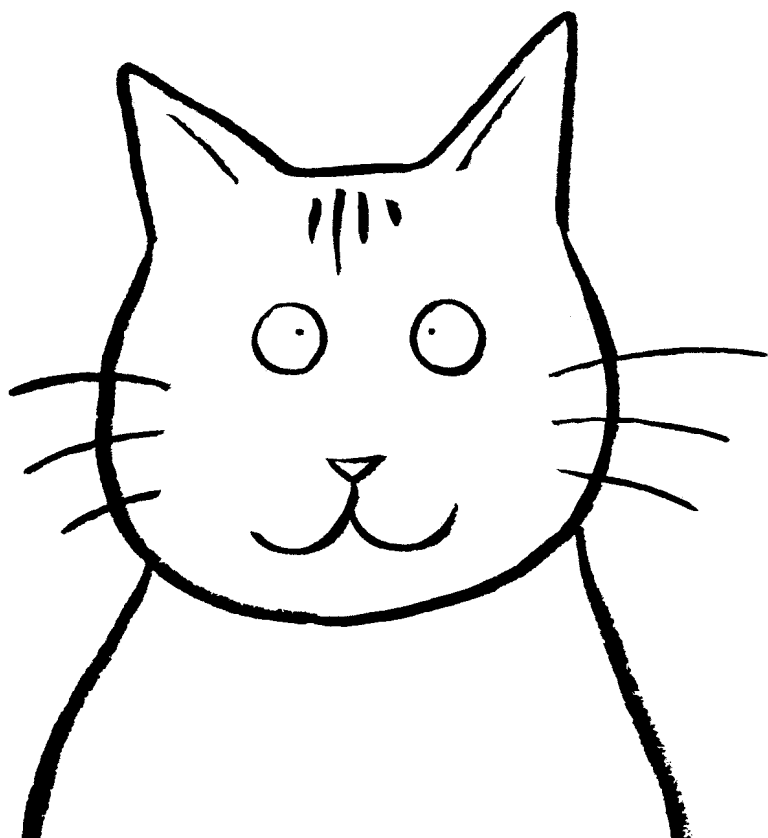
第二章

猫よ、なんと蠢惑的な奴

猫よ、なんと蠢惑的な奴

あとがき

猫談義

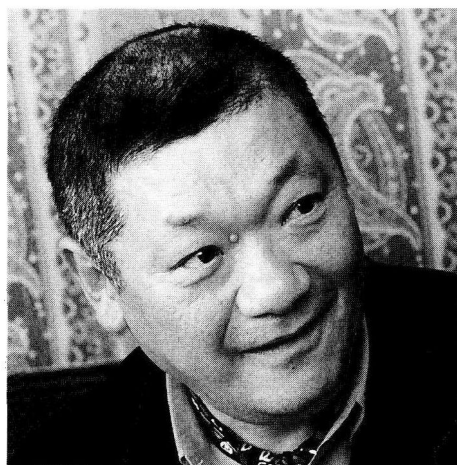


猫談義「猫は世界を救う?!」 安部 譲二×高木 美保（女優）

たまたま最初に出逢ったから
ほだされただけなんだ——安部

高木 猫にほだされちゃった同士、今日はその魅力をトコトン語り明かしましょつ。先生は、常に猫たちとともに人生を歩まれてきたんですね。どうして猫だったんでしょか。

安部 いやね、別に猫にこだわったわけじゃないんだよ。猫だから、ほだされたわけでもない。もしも同居しているのが、リクガメであつてもミミズクであつても俺はほだされち



安部譲二

やうに違いないな。知り合いの男で、毎日、帰りを迎えにくれるリクガメ可愛さに、玄関の段差をなくすためスロープを付けたって奴がいるんだけど、その気持ち、十分過ぎるくらい分るもの（笑）。もちろん猫が飼いやすいということとはあったかも知れない。だけど、たまたま最初に拾ったり接近戦を挑んだ相手が猫だった、というだけなんじゃないかしら。高木 ああ、私もそうだわ。うちね、幼稚園の頃、すごい貧乏だったんです。なんと洗濯機をお風呂替わりにしてたほどだったんですよ、銭湯にさえ行けなくて（笑）。家も、物音が外に筒抜けのボロっちいアパートでし

たかぎみほ 女優。東京都出身。一九八四年「Wの悲劇」で映画デビュー。以降、ＴＶドラマ、映画で活躍を続け、近年はバラエティ番組や執筆活動などで多才ぶりを発揮。著書に「ヒロインは眠らない」(角川書店)、読売新聞に「タレント・えっＳＡＹ」を連載。



高木美保

た。その当時のことです。冬のある夜、表おもてからニャーニャーと猫の声がしたんで、父が飛んで行って扉を開けると向こうから猫が入って来ちゃって(笑)。まさに押し掛け飼猫！それが私にとっての動物とのはじめての触れ合いですから。

安部 うん(力強く頷うなずきつつ)、縁だね。

俺たちは猫との縁が深いんだ。人格が形成される時期に猫と出逢ったことって、その後の人生に影響してない？ 子供たちが育っていく過程で、生き物を慈しむことを経験したかどうかは、成人した後の情操に必ずや違いを生じると思うんだよ。

生き物を飼って知ったのは

死は拒絶出来ないってこと——高木

高木 猫との縁がもたらしてくれたものってありますよね。その『みーこ』とは、小学校を出るまでの間ずっと一緒だったんですが、弟をベッドから蹴り落とすほど利かん気だった私が、彼にだけは本当に優しくかったんですから（笑）。大事に大事にしていたんですよ。弟よりも可愛がったかも。でも、動物ってのは悲しいかな寿命がありますでしょう。私が小六の時には、目は白濁してろくに見えず、歯も抜け、歯茎は歯肉炎で食事さえおぼつかないほどになっちゃったんです。最後の一カ月は、段ボール箱のベッドの中で寝たきりでしたので、昼間は縁側の陽の当たる場所に出してあげていました。すると、ある日、網戸をカリカリ引つかく音がして、それは「入れてほしい」という合図でしたので駆け付けて戸を開けると、一目散におコタ目がけて走って行くじゃないですか。ニヤーと催促されて、コタツ布団をめくってやると、するりと中に入りました。自営業を営む両親が、おコタで

くつろぐことはめったにありませんでしたので、そこは、私とみーこの特等席だったんです。私が、冬休みの宿題を片付け始めると、膝の上に座り込んで丸くなりました。しばらくして、また、ニャーと鳴いたんだと思います。あ、やだな、思い出すと駄目だわ（涙を堪えて）。膝の上が生暖かなもので濡れていきました。みーこが、お漏ししちやつたんです。驚いて覗くと、あのコは私のもとして息絶えてて…。

安部 俺もなん匹の猫たちに死なれたことか…。男の俺でさえ、耐え難い辛さがあるから、女の方はどれほどかと思うよ。ある時、九官鳥が百年生きるって聞いて、躊躇なく飼ったくらいだもんな。『ペペ』っていうんだ。いやあ、すぐに逃げられちゃったけど（笑）。

百年生きるなら、あの哀しみをもう味わわずに済むと思つてさ。

高木 ペットを飼うつてことは、そのコを看取らされるつてことなんですよね…。飼主は、死を拒絶出来ないんですもの。現実を受け入れて、せめて送つてあげられて良かったと思うしかないですよ。後は、出逢えたことをひたすら感謝して、天国での幸せを一心に祈るしかない…。

亡命猫の心境は分らん

猫には猫の幸せがあるんだな——安部

安部　そうそう、もっと哀しいのは、猫って突然、姿を消しちやうことがあるじゃない。

あれは堪^{たま}らないっ。俺も、最初は相当うるたえて、ビラを貼るわ、おまじないはやるわ、あらん限りの手を尽くして捜したり、待ったりしたんだよ。猫を飼ってる人の共通の悩みだね。だって、文句もわけも言わずにいなくなるんだから。

高木　納得しがたい別れなんですよ。

安部　ところがね、なん年か前のことなんだけど、うちから出て行った猫が町内の外れのお宅の縁側で昼寝してるのに出くわしたんだよ。びっくりしたねえ。恋多き女だったからさ、そいつ。『ポンコ』はどこかへ駆け落ちしちやったのかなあつて嘆いてたんですよ、ずっと。もしや木の上から降りられなくなってやしないかと心配して、一時期は上ばかり仰いで歩いてたのにさ。しれっとご近所の飼猫に納まってやがんの。



高木さんの愛猫パフ、フィー、コキ（左から）。

高木 これはマズイって顔してました(笑)?
安部 いやいや、名前を呼んだら「おや?」
なんか知ってる人だわ」なんて顔で見上げて
た。腹が立つやらおかしいやら。その後、聞
いて回ったところによると、結構、失踪猫つ
てご近所に亡命していることが多いらしいじ
やない(笑)。こっちは、エサだって十分あ
げて、ずいぶんと可愛がって、何不自由なく
してあげたつもりなんだよ。ところが、どう
も、人間には理解出来ない、猫の幸せっての
があるらしいんだな。猫には、猫の幸せがあ
る! これはつくづく悟らされたよ。そうか
と思うと、諦め切った頃になって、ずたぼろ



の有様で帰って来て当たり前前に飯をせびったりするから、いやはや亡命猫の心境は分らない（笑）。

ああ、これじゃ、
野生じゃ絶滅するわ——安部

安部 猫を飼つてるとね、猫って俊敏だし、頭はいいし、なんて凄^{すご}い連中なんだと感心させられる反面、ああ、これじゃ野生なら絶滅するわ、ってくらいそそっかしいぜって痛感しない？ 机からはみ出してる新聞紙の上を歩いて見事に転落したり、虫を家具のすき間

に追い込んでおいて待ち伏せしているうちに何してたのか忘れたりさ。そういうなんともいえず間の抜けたところが、凄^{すご}い能力と同時にあるから、猫って愛されたんじゃないかな。

高木　うちのコも新聞紙には騙されてます（笑）。ウキヤウキヤ鳴いてごまかしたりして……安部　もしも、猫が狩りゆうどとして抜群に長けていただけなら、人間は身近に置こうとしなかったんじゃないかしら。間抜けな面を併せ持ち、さらにそれが、自分では可愛いくろだと思っていないというあたりがいとおしいんだよな、きっと。

世界を平和にしたければ、
誰もが猫を飼えばいい！——安部・高木

高木　私にとって、猫たちがいてくれて本当に良かったなあとと思う瞬間は、撫でさせてもらってる時ですね。仕事柄っていうか、ほら、テンションを高く保たなくちゃいけない仕事でしよう？ テレビと違って。そうすると家に帰って来ても、なかなかテンションが落

ちなくて眠れないなんてことも多いですよ。それで、また出かけたりとかして、お酒を飲んだりしちゃうんですけど、猫さえいればそんな必要はまったくありませんね。実家に帰って、猫たちの背中を撫でただけで、すーっと張っていた気が抜けて行くのが分りますもん。なんだか安心しちゃうの。猫って「平和主義者」でしょう？ 私、あのコたちから平和な気持ちを分けてもらってるのよ、多分。そうしたらね、肌まで綺麗になつてきちゃうって。猫って、美容と健康にもいいんだから（笑）。

安部 うんうん。あのさ、猫のことを番猫にもならないし、玄関の下駄もそろえやしない役に立たない生き物だなんていう奴がいるけど、猫は十分に俺たちの役に立ってるよな。

歳とって毛が抜けちまったような、どんなボロボロの猫だって、それがてめえんちの猫だったら、そいつがいるだけで、ちよいと見やった目線の先にそいつが寝てたり歩いてたりする姿があるだけで、本当に気分がなごむんだよ。いやあ、猫は絶対に、役に立ってるよ。高木 そうっ。世界中の人が、猫を一匹ずつ飼ったら、きっと平和になりますよね。

安部 うん、まさにそのとおりだね。世界を平和にする方法は、三通りしかないんだ。男